

# 企画競争説明書

業務名称：熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）開発を含む JICA 森林保全・気候変動対策の取組の発信を目的とした広報用番組制作・放映業務

## 【企画競争】

- 第 1 競争の手順
- 第 2 業務仕様書（案）
- 第 3 プロポーザル作成実施要領
- 第 4 見積書作成及び支払について
- 第 5 契約書（案）
- 別添 様式集

2017年8月31日  
独立行政法人国際協力機構  
調達部

## 第 1 競争の手順

本件に係る公示に基づく企画競争については、この企画競争説明書によるものとします。

### 1. 公示

公示日 2017 年 8 月 31 日

公示番号 国契-17-068

### 2. 契約担当役

本部 契約担当役 理事

### 3. 競争に付する事項

- (1) 業務名称：熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）開発を含む JICA 森林保全・気候変動対策の取組の発信を目的とした広報用番組制作・放映業務（企画競争）
- (2) 業務内容：「第 2 業務仕様書」のとおり
- (3) 業務履行期間（予定）：2017 年 9 月下旬から 2018 年 5 月 10 日  
（複数年度契約）

### 4. 選定手続き窓口と書類の提出方法

#### (1) 選定手続き窓口

郵便番号 102-8012 東京都千代田区二番町 5 番地 25 二番町センタービル  
独立行政法人国際協力機構 調達部 契約第三課

【メールアドレス】 [ippankeiyakudesk@jica.go.jp](mailto:ippankeiyakudesk@jica.go.jp)

【電話】 03-5226-6609 【ファクシミリ】 03-5226-6324

#### (2) 書類の提出方法

- ・ 郵送等による場合：上記（1）あて
- ・ 持参の場合：同ビル 1 階調達部受付（調達カウンター）

なお、調達カウンターの開所時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 10 時から午後 5 時（午後 0 時 30 分から午後 1 時 30 分の間を除く）となります。

### 5. 競争参加資格

この企画競争に参加を希望する者は、競争参加資格を有することを証明するため、当機構の確認を受けなければなりません。なお、共同企業体を形成して競争に参加しようとする場合は、共同企業体の代表者及び構成員全員が、競争参加資格を有する必要があります。

具体的には、競争参加の資格要件を以下のとおり設定します。

- (1) 公示日において平成 28・29・30 年度全省庁統一資格の「役務の提供等」の「A」又は「B」又は「C」又は「D」の等級に格付けされ、競争参加資格を有すること（以下「全省庁統一資格保有者」という。）であること。

ただし、上記における全省庁統一資格保有者でない者で本競争への参加を希望する者は、当機構から資格審査（以下、「簡易審査」といいます。）を受けることができます。（下記 6.(1)の②を参照ください。）

- (2) 会社更正法（平成14年法律第154号）又は民事再生法（平成11年法律第225号）の適用の申し立てを行い、更生計画又は再生計画が発効していない者は、競争に参加する資格がありません。
- (3) 当機構から「独立行政法人国際協力機構契約競争参加資格停止措置規程」（平成20年10月1日規程（調）第42号）に基づく契約競争参加資格停止措置を受けていないこと。具体的には、以下のとおり取り扱います。
  - ア. プロポーザルの提出締切日が資格停止期間中の場合、プロポーザルを無効とします。
  - イ. 資格停止期間中に公示され、プロポーザルの提出締切日が資格停止期間終了後の案件については、プロポーザルを受付けます。
  - ウ. 資格停止期間前に、契約交渉相手方として通知されている場合は、当該相手方との契約手続きを進めます。
  - エ. 契約交渉相手方として通知される前に資格停止期間が始まる案件のプロポーザルは無効とします。
- (4) 日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人であること。
- (5) 競争から反社会的勢力を排除するため、競争に参加しようとする者（以下、「応募者」という。）は、以下のいずれにも該当しないこと、および、当該契約満了までの将来においても該当することはないことを誓約して頂きます。具体的には、競争参加資格確認申請書の提出をもって、誓約したものとします。

なお、当該誓約事項による誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合は、競争参加資格を無効とします。

  - ア. 応募者の役員等（応募者が個人である場合にはその者を、応募者が法人である場合にはその役員をいう。以下同じ。）が、暴力団、暴力団員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標榜ゴロ、特殊知能暴力団等（これらに準ずるもの又はその構成員を含む。平成16年10月25日付警察庁次長通達「組織犯罪対策要綱」に準じる。以下、「反社会的勢力」という。）である。
  - イ. 役員等が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しないものである。
  - ウ. 反社会的勢力が応募者の経営に実質的に関与している。
  - エ. 応募者又は応募者の役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、反社会的勢力を利用するなどしている。
  - オ. 応募者又は応募者の役員等が、反社会的勢力に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に反社会的勢力の維持、運営に協力し、若しくは関与している。
  - カ. 応募者又は応募者の役員等が、反社会的勢力であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている。
  - キ. 応募者又は応募者の役員等が、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有している。
  - ク. その他、応募者が東京都暴力団排除条例（平成23年東京都条例第54号）又はこれに相当する他の地方公共団体の条例に定める禁止行為を行っている。

## 6. 競争参加資格の確認

- (1) 本競争への参加希望者は、上記5. に掲げる競争参加資格を有することを条件とし、

以下のカテゴリーのうち、各社の該当するカテゴリーにおいて求められる書類を提出して下さい。尚、共同企業体を結成する場合は、以下の表の下に記載の【全カテゴリー共通で必要な書類】も併せて提出して下さい。

カテゴリーA：当機構発行の整理番号を有している場合			
A-1	提出書類	①プロポーザル、②下記、全カテゴリー共通で必要な書類	
A-2	提出方法	プロポーザルの表紙に整理番号を記載する	
A-3	提出期限	プロポーザル提出時	
A-4	提出先	下記「8. プロポーザル・見積書の提出等」を参照	
カテゴリーB： 当機構発行の整理番号を有しておらず全省庁統一資格は有している場合			
B-1	提出書類	①全省庁統一資格審査結果通知書（写） ②情報シート（様式集（下記 URL）参照） <a href="http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/domestic/proposal.html">http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/domestic/proposal.html</a> ↓ ③下記、全カテゴリー共通で必要な書類	
B-2	提出方法	プロポーザルと共に、B-1の①、②、③を郵送または持参	
B-3	提出期限	プロポーザル提出時	
B-4	提出先	下記「8. プロポーザル・見積書の提出等」を参照	
カテゴリーC：当機構発行の整理番号も全省庁統一資格も有していない場合 （上記5.（1）ただし書きに該当する者。）			
C-1	提出書類	①簡易審査申請書	・（様式集（下記 URL）参照） <a href="http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/domestic/proposal.html">http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/domestic/proposal.html</a>
		②登記事項証明書（写）	・発行日から3ヶ月以内のもの ・法務局にて発行の「履歴事項全部証明書」
		③納税証明書（その3の3）（写）	・発行日から3ヶ月以内のもの ・税務署にて発行の法人税と消費税及び地方消費税に未納の税額がないことの証明書。納税義務が免除されている場合でも発行されます。但し書きがある場合は、事情を確認することがあります。その3の3以外の証明書（市区町村発行の「法人事業税」等の納税証明書、納税時の領収書等、納税証明書その1など）では受付できません。
		④財務諸表（写） ・設立して間もない法人で最初の決算を迎えていない場合は提出不要	・決算が確定した直近1ヶ年分 ・貸借対照表、損益計算書を含む。 ・法人名および決算期間の記載があるもの。
		⑤下記、全カテゴリー共通で必要な書類	
C-2	提出方法	電子メールまたは郵送。 尚、共同企業体の場合は、代表者及び構成員ともに必要（補強は不要）	
C-3	提出期限	プロポーザル提出の3営業日前	

C-4	提出先	<b>【電子メール】</b> ・メール送付先：独立行政法人国際協力機構 調達部計画・制度課 (prttp-screen@jica.go.jp) ・メール件名：競争参加資格 ・電子データ：(PDF、Excel) を添付して送信して下さい。 *メールの容量が2MBを超える場合は、受信できないことがあるためメールではなくFAXにて送信して下さい。(FAX番号：03-5226-6324) 書類提出後5営業日以上経過しても受理のメールが届かない場合は調達部計画・制度課までお問い合わせください。
		<b>【郵送】</b> ・〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル 独立行政法人国際協力機構 調達部計画・制度課

### 【全カテゴリー共通で必要な書類】

- ・返信用封筒（長3号又は同等の大きさ。82円分の切手貼付。）
- ・共同企業体を結成するときは、以上に加えて以下の提出が必要です。
  - ① 共同企業体結成届
  - ② 共同企業体を構成する社（構成員）の資格確認書類
- ・必要に応じ、日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人であることを証明する書類を提出いただく場合があります。

### (2) 共同企業体、再委託について

ア. 共同企業体の結成を認めます。

イ. 再委託

- ・再委託は原則禁止となりますが、一部業務の再委託を希望する場合は、プロポーザルにその再委託予定業務内容、再委託先企業名等を記述してください。
- ・再委託の対象とする業務は、本件業務全体に大きな影響を及ぼさない補助的な業務に限ります。
- ・当機構が、再委託された業務について再委託先と直接契約を締結することや再委託先からの請求の受理あるいは再委託先へ直接の支払いを行うことはありません。
- ・なお、契約締結後でも、発注者から承諾を得た場合には再委託は可能です。

### 【定義】

〈共同企業体〉：複数の社が、それぞれの社の特徴を相互に補完し、構成員相互の信頼と協調を元に連帯責任をもって業務を実施する場合に構成する企業体。

〈再委託〉：受注者が委託を受けた業務の全部又は一部を自ら行わず、第三者に外注してその実施を委ねることをいいます。なお、受注者が委託を受けた業務の実施に必要な物品、役務、資機材等を買入れ又は借入れたうえで、受注者の管理下で業務を実施することは、再委託に該当しません。

### (3) その他

- ア. 申請書の提出に係る費用は、申請者の負担とします。
- イ. 82円分の切手を貼った長3号又は同等の大きさの返信用封筒に申請者の住所・氏名を記載してください。
- ウ. 提出された申請書を、競争参加資格の確認以外に申請者に無断で使用することはありません。

- エ. 一旦提出された申請書等は返却しません。また、差し替え、再提出は認めません。  
オ. 申請書に関する問い合わせ先は、上記 4. を参照ください。

## 7. 企画競争説明書に対する質問

- (1) 業務仕様書の内容等、この企画競争説明書に対する質問がある場合は、次に従い提出して下さい。

ア. 提出期限：2017年9月7日（木）正午まで

イ. 提出先：上記 4. 参照

ウ. 提出方法：電子メール

- ・メールタイトルは以下のとおりとして下さい。

【企画競争説明書への質問】国契-17-068：熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）開発を含む JICA 森林保全・気候変動対策の取組の発信を目的とした広報用番組制作・放映業務

- ・宛先電子メールアドレス：[ippankeiyakudesk@jica.go.jp](mailto:ippankeiyakudesk@jica.go.jp)

- ・機構より電子メールを受信した旨の返信メールをお送りします。

エ. 質問様式：別添様式集参照

- (2) 公正性・公平性等確保の観点から、電話及び口頭でのご質問は、原則としてお断りしています。ご了承下さい。

- (3) 上記（1）の質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

ア. 2017年9月11日（月）午後4時以降、以下のサイト上に掲示します。

国際協力機構ホームページ (<https://www.jica.go.jp/index.html>)

→「調達情報」

→「公告・公示情報」JICA 本部における公告・公示情報

→「国内向け物品・役務等 公告（2017年度）」の「質問回答」欄

(<https://www.jica.go.jp/chotatsu/buppin/koji2017.html>)

イ. 回答書によって、仕様・数量等が変更されることがありますので、本件競争参加希望者は質問提出の有無にかかわらず回答を必ずご確認ください。見積書金額は回答による変更を反映したものとして取り扱います。

## 8. プロポーザル・見積書の提出等

- (1) 提出期限：2017年9月15日（金）正午まで

- (2) 提出場所：上記 4. 参照

- (3) 提出書類：

ア. プロポーザル（提出部数：正1部、写3部）

「第3 プロポーザルの作成方法」及び下記サイトに掲載の「プロポーザル参考様式」を参照して下さい（プロポーザル参考様式はあくまで参考ですので、「第3 プロポーザルの作成要領」の要求を満たしていれば、必ずしも厳格に様式を利用する必要はありません）。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/form/domestic/proposal.html>

イ. 見積書（厳封）（提出部数：正1通）

- ・見積書は任意様式とします。経費項目については、「第4 見積書作成及び支払について」を参照下さい。

- ・見積書の表紙については上記ア. に記載のサイトに掲載の様式をご使用くださ

い。

- ・ 本見積書については、応募者の名称又は商号並びに代表者の氏名による見積書とし、代表者印又は社印を押印して下さい。
- ・ 日付はプロポーザル提出日として下さい。
- ・ 封筒に入れ、表に業務名称、社名記入、厳封のうえ提出して下さい。

ウ. 返信用封筒（長3号又は同等の大きさ。82円分の切手貼付。）

(4) 提出方法：郵送等又は持参（郵送等の場合は上記（1）の提出期限までに到着するものに限り。）

(5) その他

- ア. 一旦提出されたプロポーザルは、差し替え、変更又は取り消しはできません。
- イ. プロポーザル及び見積書等の作成、提出に係る費用については報酬を支払いません。

(6) プロポーザルの無効

次の各号のいずれかに該当するプロポーザルは無効とします。

- ア. 提出期限後に提出されたとき。
- イ. 記名、押印がないとき。
- ウ. 同一応募者から内容が異なる提案が2通以上提出されたとき。
- エ. 虚偽の内容が記載されているとき（虚偽の記載をしたプロポーザルの提出者に対して契約競争参加資格停止等の措置を行うことがあります）。
- オ. 前各号に掲げるほか、本プロポーザル方式選定説明書に違反しているとき。

## 9. プロポーザルの評価結果の通知

- (1) プロポーザルは当機構において評価し、プロポーザルを提出した全者に対し、2017年9月25日（月）付までの文書をもって交渉順位を通知します。2017年9月26日（火）までに結果が通知されない場合は、上記4. 窓口に問い合わせ下さい。
- (2) プロポーザル評価の結果、契約交渉の相手先として選定されなかった者は、その理由について書面（様式は任意）により説明を求めることができます。  
詳細は、14. (9) を参照下さい。

## 10. プロポーザルの評価及び契約交渉順位の決定方法

(1) 評価項目・評価配点・評価基準

「第3 プロポーザルの作成方法」別紙評価表参照。

(2) 評価方法

「第3 プロポーザルの作成方法」別紙評価表の項目ごとに、各項目に記載された配点を上限として、以下の基準により評価（小数第一位まで採点）し、合計点を評価点とします。

当該項目の評価	評価点
当該項目については極めて優れており、高い付加価値がある業務の履行が期待できるレベルにある。	90%以上
当該項目については優れており、適切な業務の履行が十分期待できるレベルにある。	80%
当該項目については一般的なレベルに達しており、業務の履行が十分できるレベルにある。	70%

当該項目については必ずしも一般的なレベルに達していないが、業務の履行は可能と判断されるレベルにある。	60%
当該項目だけで判断した場合、業務の適切な履行が困難であると判断されるレベルにある。	50%以下

なお、プロポーザル評価点が 100 満点中 50 点（基準点という。）を下回る場合を不合格とします。

### （3）契約交渉順位の決定方法

プロポーザルの評価点が最も高い者を交渉順位 1 位とします。なお、評価点が高い者が 2 者以上あるときは、抽選により交渉順位を決定します。

#### 1 1. 契約交渉

- （1）プロポーザル評価結果に基づき契約交渉順位 1 位の社から契約交渉を行います。
- （2）契約交渉は上記 4. の所在地にて実施します。
- （3）契約交渉に当たっては、当方が提示している業務仕様書（案）及び提案頂いた内容に基づき、最終的な委託業務内容を協議します。
- （4）また、当機構として契約金額（単価）の妥当性を確認するため、見積書金額の詳細内訳や具体的な根拠資料を提出いただき、各業務に係る経費を精査します。

#### 1 2. 最終見積書の提出、契約書作成及び締結

- （1）上記 1 1. により合意に至った者は、速やかに合意された金額の最終見積書を提出するものとします。
- （2）「第 5 契約書（案）」に基づき、速やかに契約書を作成し、締結するものとします。契約保証金は免除します。
- （3）契約書附属書Ⅱ「契約金額内訳書」（「第 5 契約書（案）」参照）については、見積金額の内訳等の文書に基づき、両者協議・確認して設定します。

#### 1 3. 情報の公開について

「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成 22 年 12 月 7 日閣議決定）に基づき、行政改革推進本部事務局から、独立行政法人が密接な関係にあると考えられる法人と契約する際には、当該法人への再就職の状況や取引高などの情報を公表することが求められています。

つきましては、当機構においてもこれに基づき関連情報を当機構のホームページで公表することとしますので、必要な情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。

##### （1）公表の対象となる契約

当機構との間に締結する契約のうち、次に掲げるものを除きます。

ア. 当機構の行為を秘密にする必要があるとき

イ. 予定価格が次の基準額を超えない契約

- ① 工事又は製造の請負の場合、250 万円
- ② 財産の買入れの場合、160 万円
- ③ 物件の借入れの場合、80 万円



④ 上記以外の場合、100万円

ウ. 光熱水料、燃料費及び通信費の支出に係る契約

(2) 公表の対象となる契約相手方

次のいずれにも該当する契約相手方

ア. 当該契約の締結日において、当機構の役員経験者が再就職していること又は当機構の課長相当職以上経験者が役員等(※)として再就職していること

※役員等とは、役員のほか、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言することなどにより影響力を与え得ると認められる者を含みます。

イ. 当機構との間の取引高が、総売上又は事業収入の3分の1以上を占めていること(総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績によることとします)

(3) 公表する情報

契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約相手方の氏名・住所、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表します。

ア. 当機構の役員経験者又は当該契約相手方の役員等として再就職している当機構課長相当職以上経験者の氏名、契約相手方での現在の職名及び当機構における最終職名

イ. 契約相手方の直近3カ年の財務諸表における当機構との間の取引高

ウ. 契約相手方の総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引割合が、次の区分のいずれかに該当する旨

- ・ 3分の1以上2分の1未満
- ・ 2分の1以上3分の2未満
- ・ 3分の2以上

エ. 一者応札又は応募である場合はその旨

(4) 公表の時期

契約締結日以降、所定の日数以内(72日以内。ただし、4月締結の契約については93日以内)に掲載することが義務付けられています。

(5) 情報提供の方法

契約締結時に所定の様式を提出していただきますので、ご協力をお願いします。

13-2. 独立行政法人会計基準に基づく情報提供依頼の可能性について

当機構を含む全ての独立行政法人は、公的な資金の流れを対外的に説明する観点から、独立行政法人会計基準に基づき、適切に情報開示を行うことが求められています。その一環として、年間の総収入に占める当機構との年間の取引高の割合が3分の1を超える公益法人等(公益法人等には、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人のほか、社会福祉法人、特定非営利活動法人、技術研究組合等の法人も含む。)については、一定の場合を除き、「関連公益法人等」として分類し、当機構との取引等の関係を財務諸表の附属明細書に掲載することと定められています。

この要請に適切に応えるため、取引高等の情報提供依頼を行う可能性がありますので、

ご協力をお願いします。

なお、「関連公益法人等」として当機構の財務諸表に掲載されることは、当該法人の当機構との取引の割合や当該法人の役員に占める当機構役職員出身者の割合が一定以上に高いことを示すものであり、当該法人と当機構との間に資本を通じた関係があることを意味しているものではありません。また、当該法人の財務諸表作成において特別な処理が必要となるものではありません。

#### 1 4. その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限ります。
- (2) 本プロポーザル方式選定説明書は、日本国の法律に準拠し解釈されるものとします。
- (3) 選定結果については、参加社名、評価結果等を当機構ウェブサイト上で公表します。
- (4) 当機構が配布・貸与した資料・提供した情報（口頭によるものを含む）は、本件業務のプロポーザル及び見積書を作成するためのみに使用することとし、複写又は他の目的のために転用等使用しないでください。
- (5) プロポーザル等は、本件業務の契約交渉順位を決定し、また、契約交渉を行う目的以外に使用しません。
- (7) 採用となったプロポーザル等については返却いたしません。また、不採用となったプロポーザルについては、提出者の要望があれば、(正)のみ返却しますので、プロポーザル評価結果通知の日から2週間以内に上記4. 窓口までご連絡願います。要望がない場合には、機構が適切な方法で処分（シュレッダー処理等）いたします。なお、受注者となった者以外のプロポーザル等にて提案された計画、手法は無断で使用しません。
- (8) プロポーザル等に含まれる個人情報等については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第59号）」に従い、適切に管理し取り扱います。
- (9) 競争参加資格がないと認められた者、プロポーザルの評価の結果契約交渉の相手先として選定されなかった者については、その理由について、以下のとおり書面により説明を求めることができます。
  - ア. 説明依頼期限：2017年10月10日（火）正午まで
  - イ. 説明依頼方法：上記4. 参照
  - ウ. 提出方法：提出場所へ面談希望日を記載した書面を、郵送、ファクシミリ、電子メール送付又は持参して下さい。
  - エ. 回答方法：面談形式により回答します。

#### (10) 辞退理由書

当機構では、競争参加資格有の確認通知を受けた後にプロポーザルを提出されなかった社に対し、辞退理由書の提出をお願いしております。

辞退理由書は、当機構が公的機関として競争性の向上や業務の質の改善につなげていくために、内部資料として活用させていただくものです。つきましては、ご多忙とは存じますが、ご協力の程お願い申し上げます。

なお、内容につきまして、個別に照会させて戴くこともありますので、予めご了承ください。また、本辞退理由書にお答えいただくことによる不利益等は一切ございません。本辞退理由書は今後の契約の改善に役立てることを目的としているもので、その目的以外には使用いたしませんので、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。辞退理由書の様式は、様式集のとおりです。

以上